

新型インフルエンザ予防・拡大防止のために

◎毎朝、体温測定、健康チェックを行う。

- ・測定した体温は、所定の用紙に記載する。
- ・リーダーはグループメンバーの健康チェックを確認し、指導者に報告する。

△朝、自宅で検温および健康チェック

朝に2回以上体温測定し、37.5℃以上の場合には熱があると判断。
また37.5℃未満であっても、平熱より高い場合や、その他の風邪症がある場合



↓
かかりつけ医に電話連絡し受診についての指示を受ける（受診時間と入口確認も）。

↓
病院を受診する。

新型インフル（+）の場合



- 教員に連絡する。
- 医師から指示された期間自宅療養する。

新型インフル（-）の場合

- 原則は医師の指示に従うこと。
- 教員に連絡する。
- 自宅療養の必要がなければ、マスク着用で実習継続する。
- 健康状態のチェックをより一層徹底する。

↓
実習開始日は、診断がついた際の医師からの指導に従ってください。実習開始日、薬袋または医療機関発行の領収書を担当教員に渡してください。

◎手洗い、うがいを徹底する

- ・実習施設に各自うがい用のコップを持参する。
- ・朝、実習施設に到着したら、石鹸で手を洗い（15秒以上）、うがいを行ってから実習に臨む。
- ・実習終了時と帰宅直後にも手洗いとうがいを必ず行う。

◎マスクの着用

- ・せき、くしゃみ等の症状がある場合には、必ずマスク（不織布マスク）を着用し、指導者・教員に報告する。場合によっては病棟実習を見合わせるため、必ず教員・指導者に相談すること。

◎体調管理

- ・実習中は体調を崩しやすいので、食事、休息をしっかりと取り、体調を整えるように自己管理しましょう。

◎家族がインフルエンザ発症者の場合

登校・出勤前の体温測定など、健康状態のチェックを徹底し、マスクを常時着用しましょう。実習中に少しでもインフルエンザ様症状が出たら、教員に相談しましょう。

※何よりも一人一人の感染拡大や集団感染を防ぐための取り組みが大切です。

日常の手洗い、うがいの励行、症状が出た場合のマスクの着用 ・外出の自粛、人に咳やくしゃみをかけない咳エチケットの徹底、部屋の換気等に努めましょう。